



# Archive Vault 管理者ガイド

バージョン 2.0 を基に

# 目次

## 第 1 章:はじめに

概要.....	3
Archive Vault のシステム アーキテクチャ.....	4
1 回限りのアーカイブ化タスクとスケジュールされたアーカイブ化タスク.....	5

## 第 2 章:基本操作

Archive Vault の使用を始める.....	6
新しいアーカイブ化タスクの作成.....	7
タスクの状態の監視.....	13
帯域幅コントロールの設定.....	14
アーカイブされた録画の表示.....	15

## 第 3 章:操作の詳細

適切な NAS サーバーを選択する方法.....	17
アーカイブする録画の選択.....	17
アーカイブ範囲がソース サーバーとオーバーラップしていない.....	18
アーカイブ化タスクの再開.....	19

## 第 4 章:Archive Vault のセットアップ例

Archive Vault のセットアップ例.....	20
-----------------------------	----

# はじめに

## 概要

Surveillance Station Archive Vault は、オフサイトのアーカイブ作成とより長い録画ファイルの保持期間を提供するソリューションです。Surveillance Station の Archive Vault アプリケーションでリモートのアーカイブ化タスクをセットアップして、対応する録画ファイルをリモート サーバーから自動的に取得してアーカイブできます。また、小規模なソース録画サーバーにあるファイルをより大規模な Archive Vault サーバーにアーカイブすることで録画ファイルを一元化して、ファイルのセキュリティを強化し、ファイルの保持期間を延ばすことができます。

このアーキテクチャは、さまざまな場所にある小規模な NAS または NVR セットアップにおいて使用できます。より簡単で一貫性のある管理を実現するために、ホット データ(30 日以内に録画されたビデオ画像など)はローカル ストレージから取得し、古いコールド データは本社にあるより大規模な NAS または NVR サーバーにアーカイブできます。また、Archive Vault はファイルのセキュリティを強化します。例えば、ソース録画サーバーでは録画ファイルを 1 ~ 30 日間保持するように指定し、アーカイブ サーバーではファイルを 1 ~ 365 日間保持するように指定できます。ソース録画サーバー上の録画ファイルが予期せず失われたか削除された場合でも、アーカイブ サーバーにある最近の録画ファイルはすばやく取得できます。

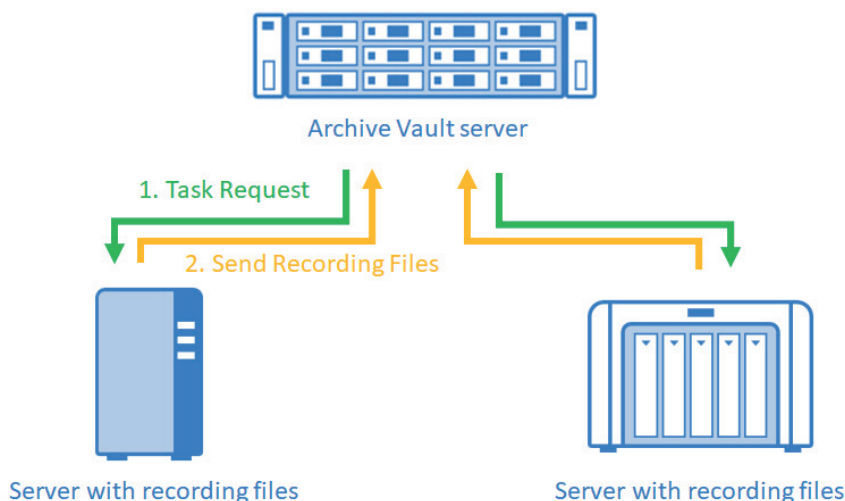
基本的な録画アーカイブ機能に加えて、Synology Archive Vault では、アーカイブ機能を強化し利便性を向上させる次の機能も提供しています。

- 1 回限りのアーカイブ化タスクとスケジュールされたアーカイブ化タスク
- 録画タイプの選択
- ネットワークの帯域幅コントロール
- 独立したアーカイブ ローテーション メカニズム
- アーカイブ化タスクの履歴的記録
- 録画を表示およびダウンロードするための便利なインターフェイス

## Archive Vault のシステム アーキテクチャ

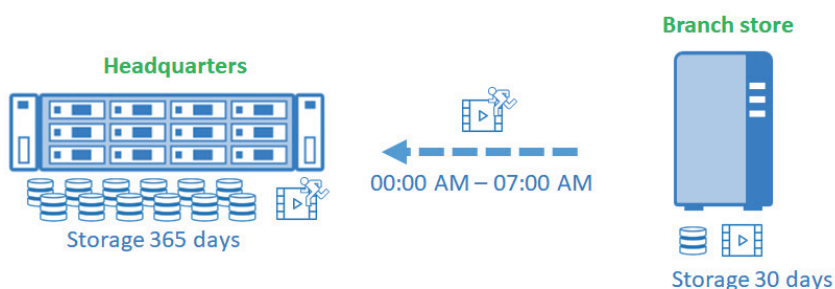
Archive Vault は、1 対 1 または 1 対多の関係を構成できる柔軟性を提供するように設計されています。このアーキテクチャは、Surveillance Station 中央管理システム (CMS) のアーキテクチャから独立しているため、クライアント サーバー環境をセットアップすることなく、使いやすいインターフェイスでアーカイブ化タスクをセットアップできます。

下に示すシステム アーキテクチャの図は、1 つのアーカイブ サーバーと複数のソース録画サーバーとの間の、1 対多の関係の例です。



アーカイブ サーバーでアーカイブ化タスクが構成されると、指定されたスケジュールと構成済みのアーカイブ設定に基づいて、システムがアーカイブを開始します。アーカイブ サーバーがソース録画サーバーに転送リクエストを送信すると、リクエストを受信したサーバーがバックグラウンドでタスクを実行し、ファイル フィルタや他のタスク設定に従って録画ファイルをアーカイブ サーバーに送信します。また、さまざまな時間に対して帯域幅制限を指定して、すべての使用シナリオに対応できます。例えば、営業時間中は特定の帯域幅を制限して、スムーズなインターネット接続とビジネスの効率的な運営を確保できます。

Archive Vault の背後にあるコンセプトは、より大規模なアーカイブ サーバーを提供して録画ファイルの保持期間を延ばし、録画ファイルが失われるリスクを分散しながらオフサイトのアーカイブ化タスクを実行することにあります。下の例に示すように、支店で録画を 30 日間保持し、午前 0 時から午前 7 時の間に発生したモーション検出イベントのみを本社に毎日送信して 365 日間アーカイブします。



# 1 回限りのアーカイブ化タスクとスケジュールされたアーカイブ化タスク

---

Synology Archive Vault には、1 回限りのアーカイブとスケジュールされたアーカイブの、2 つのタイプのアーカイブ化タスクが用意されています。以下の段落では、2 つのタイプのアーカイブ化タスクに関する一般的な概要を示します。詳細については、後の章で説明します。

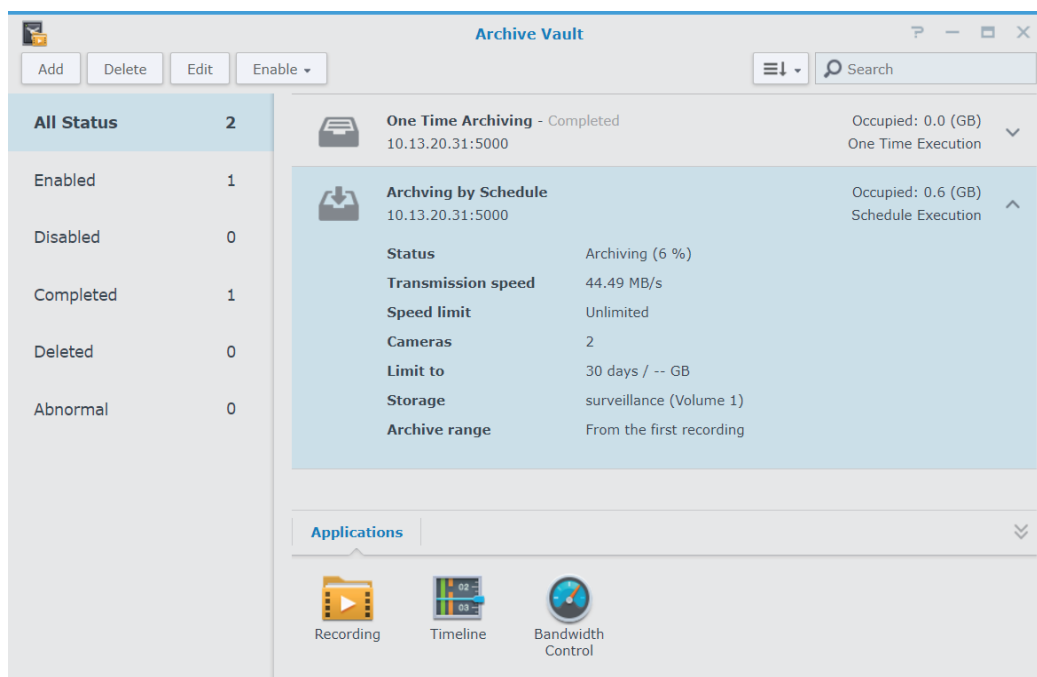
- ・ **1 回限りのアーカイブ化タスク**：録画をアーカイブする日付範囲を指定すると、その条件に一致する録画がアーカイブされます。時間範囲のすべての録画がアーカイブされると、タスクが完了します。例えば、2019 年 2 月 15 日～2019 年 2 月 17 日のカメラ A の録画をアーカイブするように指定できます。
- ・ **スケジュールされたアーカイブ化タスク**：継続的なアーカイブ化タスクをスケジュールします。開始時間を設定するだけで、タスクを無効にしない限りタスクが定期的に行われます。例えば、2020 年 1 月 1 日から始まるカメラ A の録画をアーカイブするように選択できます。録画は 1 月 1 日から、事前に指定された宛先に継続してアーカイブされます。

# 基本操作

## Archive Vault の使用を始める

Archive Vault は、Surveillance Station 8.1 以降で利用可能なアプリケーションです。Archive Vault アプリケーションを介して新しいアーカイブ化タスクをアーカイブ サーバー上に作成して、ソース録画サーバーからアーカイブ サーバーに録画を転送できます。

Archive Vault では、サーバー上にセットアップしたすべてのアーカイブ化タスクの管理、アーカイブの進捗状況の表示、アーカイブ設定の調整などを行うことができます。この章では、アーカイブ化タスクを作成し、個別の要件に基づいて帯域幅コントロール設定を調整し、アーカイブされたファイルをユーザーフレンドリーなインターフェイスで表示する手順について説明します。



## 新しいアーカイブ化タスクの作成

1 回限りのアーカイブ化タスクまたはスケジュールされたアーカイブ化タスクを作成できます。以下のセクションで、それぞれのアーカイブ化タスク タイプについて、[アーカイブ化タスク ウィザードを追加] でアーカイブ化タスクを作成する方法を説明します。

### 1 回限りのアーカイブ化タスク

- 1 [Archive Vault] を起動し、[追加] をクリックします。
- 2 [全般] ページで、タスクの [名前] を指定し、[タスクタイプ] ドロップダウン メニューから [1 回限りの実行] を選択し、[実行時間] ドロップダウン メニューから [直ちに実行] または [指定の時間に実行] を選択します。[指定の時間に実行] を選択した場合は、録画のアーカイブ化タスクを実行する特定の日付および時刻を選択する必要があります。
- 3 [次へ] をクリックして続行します。

The screenshot shows the 'Add Archiving Task Wizard' dialog box with the 'General' tab selected. The 'Information' section contains the following fields:

- Name: OneTimeTask
- Task type: One Time Execution
- Execute time: Execute at a specified time
- 2019/02/13 / 23:15

At the bottom right, there are 'Next' and 'Cancel' buttons. The 'Next' button is highlighted with a red box.

- 4 [ストレージ] ページで、アーカイブされたファイルの保存先を選択し、ローテーション ルールを変更します。[ストレージ設定] セクションでは、ファイルをアーカイブするボリュームを指定でき、アーカイブ フォルダ名をカスタマイズできます。[管理] ボタンをクリックすると録画アプリケーションが開き、[ストレージ] タブでストレージ ボリュームを管理できます。[ローテーションルール] セクションでは、録画を保持する日数を指定できます。
- 5 [次へ] をクリックして続行します。

The screenshot shows the 'Add Archiving Task Wizard' dialog box with the 'Storage' tab selected. The 'Storage Settings' section contains the following fields:

- Archiving storage: surveillance (Volume 1) Management
- Customize archive folder name Same as the task name
- Recordings are located in /volume1/surveillance/@ArchiveVault/Task\_1

The 'Rotation Rules' section contains the following field:

- Keep the files within (days): 30

At the bottom, there are 'Previous', 'Next', and 'Cancel' buttons. The 'Next' button is highlighted with a red box.

- 6 [ソース] ページで、[アーカイブソース] ドロップダウンメニューからソース録画サーバーを指定します。[リモートサーバー] を選択した場合は、IP アドレスとポートを入力するか、または**拡大鏡**アイコンをクリックして同じ LAN にあるサーバーを検索した後、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 7 接続をテストしたら、**[次へ]** をクリックして続行します。

**Add Archiving Task Wizard**

**Source**

You can add Surveillance Station as the source recording server for archiving tasks.

Archiving source: Remote Server

IP address: 10.17.28.255

Port: 5000  HTTPS

User name: admin

Password: .....

Test Connection

Previous **Next** Cancel

- 8 [カメラ] ページで、ソース録画サーバー上でセットアップされているすべてのカメラの詳細情報を表示できます。カメラの横にあるチェックボックスにチェックマークを付けてソースカメラを選択し、**[次へ]** をクリックして続行します。

**Add Archiving Task Wizard**

**Cameras**

Name	IP address	Occupied (GB)	Select
All Cameras	--	--	<input type="checkbox"/>
Camera_1	10.17.28.43	10.0	<input checked="" type="checkbox"/>
Camera_2	10.17.53.47	9.8	<input type="checkbox"/>

Previous **Next** Cancel



9 [録画] ページで、録画をアーカイブする開始時間と終了時間を選択してから、スケジュール表を使用して詳細な録画時間を指定します。下の例では、2019年2月1日から2019年2月28日までの月曜日～金曜日の午前8時～午後8時までの録画がアーカイブされます。

10 [次へ] をクリックして続行します。

**Add Archiving Task Wizard**

**Recording**

Specify Archive Range

From recording start time: 2019/02/01 / 00:00

To recording end time: 2019/02/28 / 00:00

Specify Recording Time

Select Delete

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
Sun																								
Mon																								
Tue																								
Wed																								
Thu																								
Fri																								
Sat																								

Previous **Next** Cancel

11 [詳細設定] ページで、[録画モード] ドロップダウンメニューから、すべての録画をアーカイブするか特定の録画モードの録画のみをアーカイブするかを選択します。選択した録画モードの録画ファイルのみがアーカイブされます。[イベントの概要] を [有効化] にすると、録画がスケールダウンされて、検出されたイベントを含んでいるクリップのみがアーカイブされます。

12 [終了] をクリックして、1 回限りのアーカイブ化タスクの設定を完了します。

**Add Archiving Task Wizard**

**Advanced**

Specify Recording Type

Recording Mode: All Modes

Video Reduction

Event Summary: Enabled

Previous **Finish** Cancel

**注:** 録画時間および録画タイプの定義の詳細については、**アーカイブする録画の選択**以下のセクションを参照してください。

## スケジュールされたアーカイブ化タスク

- 1 [Archive Vault] を起動し、[追加] をクリックします。
- 2 [全般] ページで、タスクの [名前] を指定し、[タスクタイプ] ドロップダウンメニューから [実行をスケジュール] を選択し、下にあるグリッドを使用して時間枠を選択して、スケジュールに基づいて録画ファイルをアーカイブおよび転送します。下の例では、アーカイブ化タスクが毎日午後 9 時から午前 7 時まで実行されます。

**Add Archiving Task Wizard**

**General**

Information

Name: ScheduleTask

Task type: Schedule Execution

Task Execution Schedule

Active Delete

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
Sun																								
Mon																								
Tue																								
Wed																								
Thu																								
Fri																								
Sat																								

Next Cancel

- 3 [ストレージ] ページで、アーカイブされたファイルの保存先を選択し、ローテーションルールを変更します。[ストレージ設定] セクションでは、ファイルをアーカイブするボリュームを指定でき、アーカイブフォルダ名をカスタマイズできます。[管理] ボタンをクリックすると録画アプリケーションが開き、[ストレージ] タブでストレージボリュームを管理できます。[ローテーションルール] セクションでは、録画を保持する日数を指定できます。ストレージスペースおよび保持期間の制限に達した場合は、古いアーカイブを削除するか、それともアーカイブを停止するかを選択できます。
- 4 [次へ] をクリックして続行します。

**Add Archiving Task Wizard**

**Storage**

Storage Settings

Archiving storage: Surveillance (Volume 1) Management

Customize archive folder name Same as the task name

Recordings are located in `/volume1/Surveillance/@ArchiveVault/ScheduleTask`

Rotation Rules

Keep the files within (days): 30

Limit the archive folder up to (GB): 10

When space or time limit is reached: remove old archives

remove old archives  
stop archiving

Previous Next Cancel

- 5 [ソース] ページで、[アーカイブソース] ドロップダウン メニューからソース録画サーバーを指定します。[リモートサーバー] を選択した場合は、IP アドレスとポートを入力するか、または**拡大鏡**アイコンをクリックして同じ LAN にあるサーバーを検索した後、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 6 接続をテストしたら、**[次へ]** をクリックして続行します。

**Add Archiving Task Wizard**

**Source**

You can add Surveillance Station as the source recording server for archiving tasks.

Archiving source: Remote Server

IP address: 10.17.53.11

Port: 5000  HTTPS

User name: admin

Password: .....

Test Connection

Previous **Next** Cancel

- 7 [カメラ] ページで、ソース録画サーバー上でセットアップされているすべてのカメラの詳細情報を表示できます。カメラの横にあるチェックボックスにチェックマークを付けてソースカメラを選択し、**[次へ]** をクリックして続行します。

**Add Archiving Task Wizard**

**Cameras**

Name	IP address	Occupied (GB)	Select
All Cameras	--	--	<input type="checkbox"/>
AXIS - P1365	10.17.52.194	5.6	<input checked="" type="checkbox"/>

Previous **Next** Cancel

- 8 [録画] ページで、録画をアーカイブする開始時間と終了時間を選択してから、スケジュール表を使用して詳細な録画時間を指定します。割り当てられた時間範囲に発生した録画のみがアーカイブサーバーにアーカイブされます。<sup>1</sup>下の例では、2019年2月1日から2019年2月20日までの月曜日～金曜日の午前8時～午後10時の録画がアーカイブされます。

The screenshot shows the 'Add Archiving Task Wizard' dialog box in the 'Recording' step. It has two main sections: 'Specify Archive Range' and 'Specify Recording Time'. In the first section, the start time is set to 2019/02/01 00:00 and the end time is 2019/02/28 00:00. The second section features a calendar grid where the days from Monday to Friday are selected, with a 'Select' button and a 'Delete' button. At the bottom, there are 'Previous', 'Next', and 'Cancel' buttons, with the 'Next' button highlighted in red.

- 9 [詳細設定] ページで、[録画モード] ドロップダウンメニューから、すべての録画をアーカイブするか特定の録画モードの録画のみをアーカイブするかを選択します。選択した録画モードの録画ファイルのみがアーカイブされます。[イベントの概要] を [有効化] にすると、録画がスケールダウンされて、検出されたイベントを含んでいるクリップのみがアーカイブされます<sup>1</sup>。ソースサーバーからローテーションされそうになっている録画をアーカイブする場合は、[アーカイブ範囲がソースサーバーとオーバーラップしていない] チェックボックスにチェックマークを付けます<sup>2</sup>。

- 10 [終了] をクリックして、スケジュールされたアーカイブ化タスクの設定を完了します。

The screenshot shows the 'Add Archiving Task Wizard' dialog box in the 'Advanced' step. It has three main sections: 'Specify Recording Type', 'Video Reduction', and 'Specify Archive Range'. In the first section, 'Recording Mode' is set to 'All Modes'. In the second section, 'Event Summary' is set to 'Enabled'. In the third section, the checkbox 'Archive range does not overlap with the source server' is checked. At the bottom, there are 'Previous', 'Finish', and 'Cancel' buttons, with the 'Finish' button highlighted in red.

**注:**

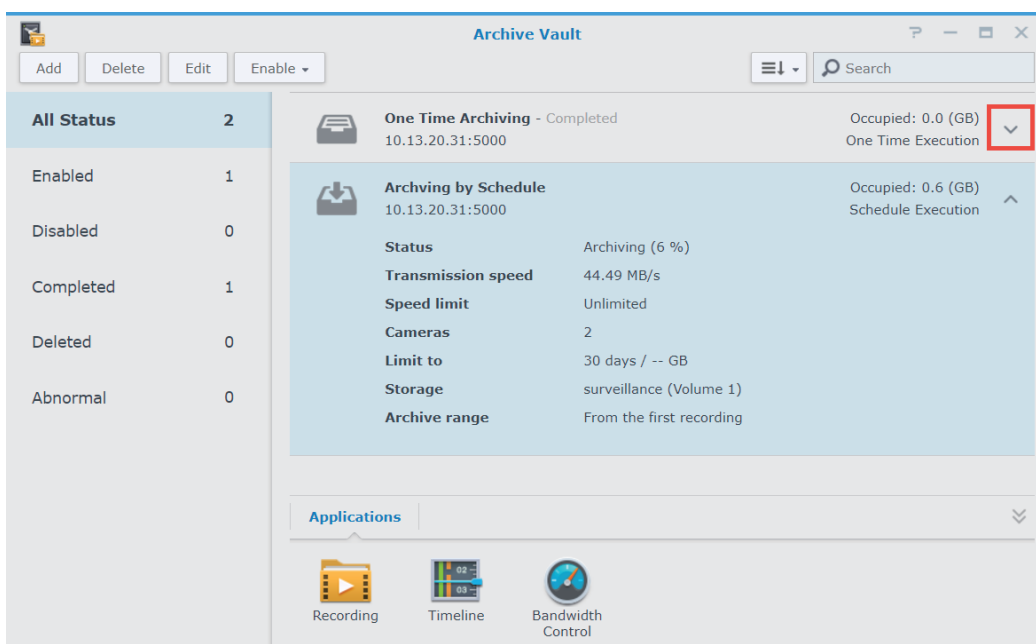
1. 録画時間および録画タイプの定義の詳細については、以下のアーカイブする録画の選択セクションを参照してください。
2. アーカイブ範囲の指定の詳細については、後の「アーカイブ範囲がソースサーバーとオーバーラップしていない」セクションを参照してください。

## タスクの状態の監視

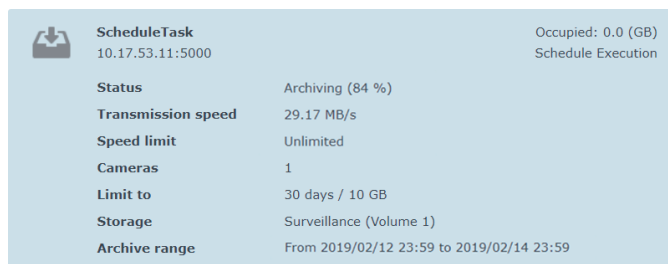
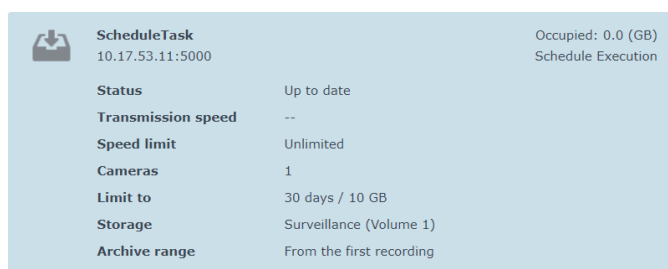
セットアップ ウィザードでアーカイブ化タスクを作成すると、構成した設定に基づいてアーカイブ化タスクが実行されます。以下の段落では、2 つのタイプのタスクのアーカイブ規則について説明します。

- ・ **1 回限りのアーカイブ化タスク** : 1 回限りのアーカイブ化タスクが作成されると、タスク リクエストがリモート サーバーに送信されます。リモート サーバーは、タスク リクエストを受信すると、アーカイブ規則および設定に従って現在の録画ファイルのフィルタリングおよび切り捨てを行い、条件に一致する録画がアーカイブ サーバーに転送されます。
- ・ **スケジュールされたアーカイブ化タスク** : スケジュールされたアーカイブ化タスクが作成されると、アーカイブ化タスク リクエストがリモート サーバーに定期的送信されて、最新の録画がアーカイブされます。スケジュールされたアーカイブ化タスクの実行の初期プロセスは、1 回限りのアーカイブ化タスクの場合と同じです。転送が完了すると、タスクの状態が最新として表示されます。アーカイブ リクエストがソース録画サーバーに 30 分ごとに送信され、新しい録画がアーカイブ条件に一致する場合にアーカイブ化タスクが実行されます。

Archive Vault アプリケーションでは、各アーカイブ化タスクの右側にある展開アイコンをクリックして詳細情報(アーカイブの状態や転送速度など)を表示できます。

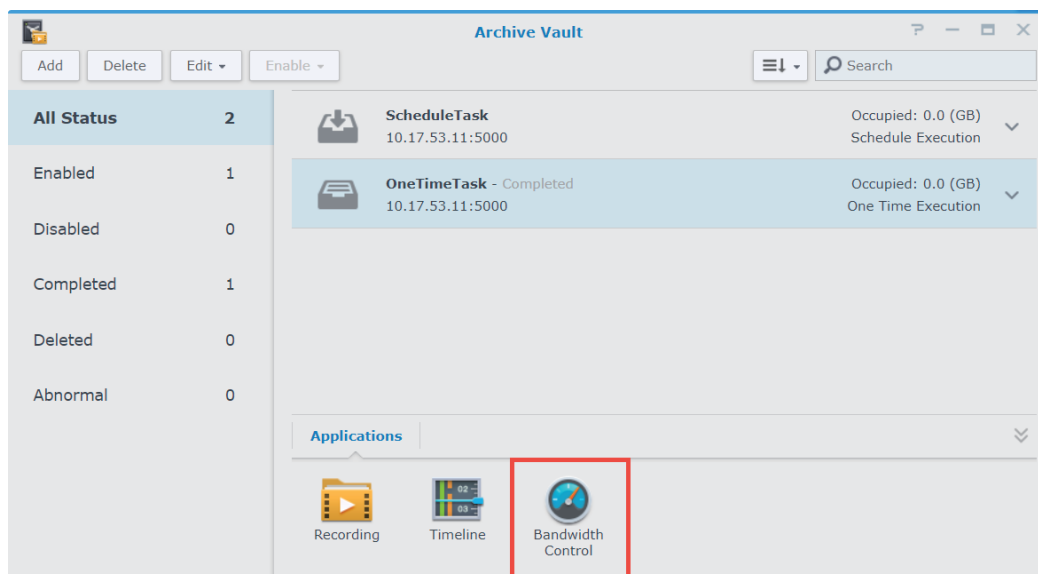


下の画像は、完了したアーカイブ化タスクと進行中のアーカイブ化タスクの例です。



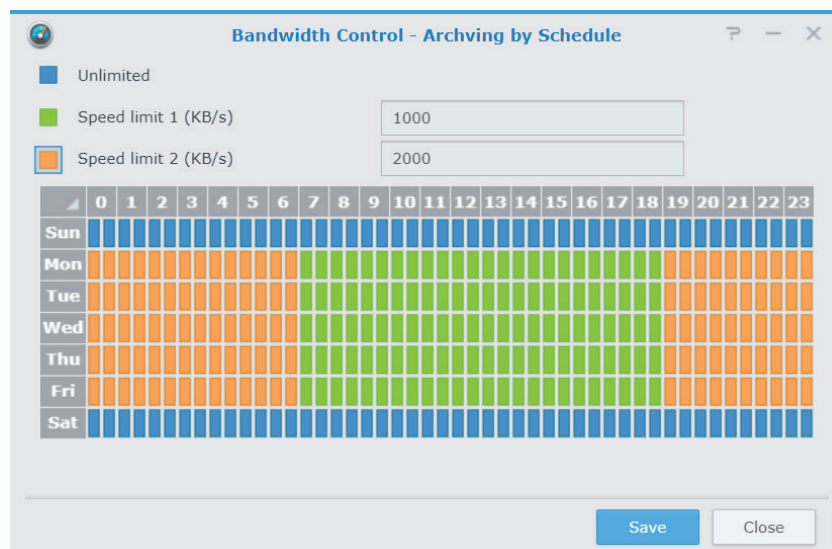
## 帯域幅コントロールの設定

Archive Vault では、アーカイブ化タスクの帯域幅コントロールを行って、帯域幅の消費を最小化してスムーズなネットワークパフォーマンスを確保できます。この機能を適用するには、[Archive Vault] に移動し、目的のタスクを選択し、ページ下部の [アプリケーション] にある [帯域幅コントロール] をクリックします。



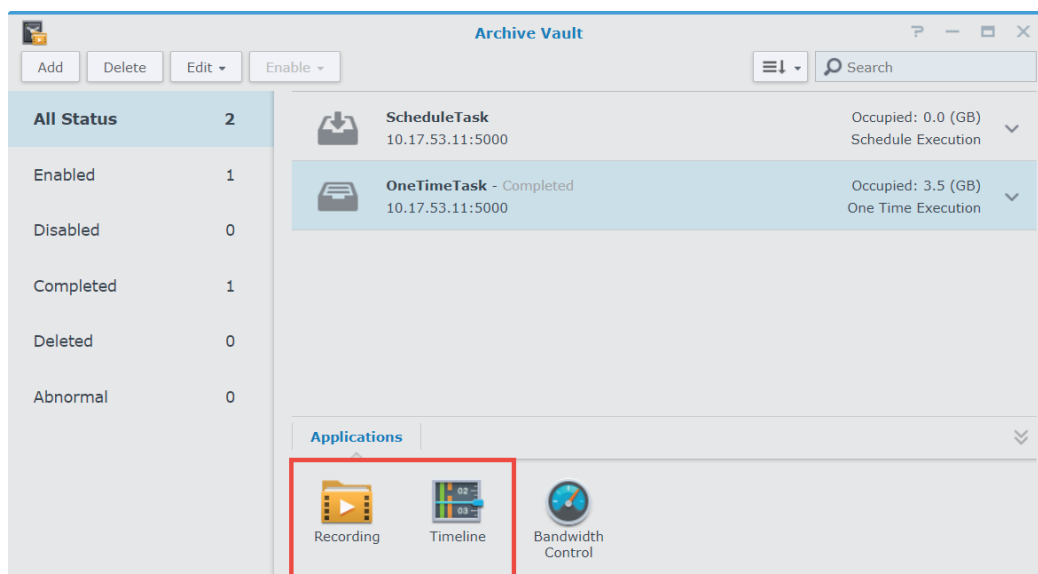
[帯域幅コントロール] では、時間グリッドを使用して、特定の時間の速度制限を指定します。青でマークされている期間は、その時間中に実行されるタスクには速度制限がないことを意味します。個別の要件に応じて、[速度制限 1] と [速度制限 2] を指定できます。これらの速度制限がある適用時間はそれぞれ、緑とオレンジでマークされます。

下の例では、午前 7 時から午後 7 時までに実行されるタスクの場合は最大速度が 1000 KB/秒で、午後 7 時から午前 7 時までに実行されるタスクの場合は最大速度が 2000 KB/秒です。土曜日および日曜日に実行されるタスクには速度制限がありません。

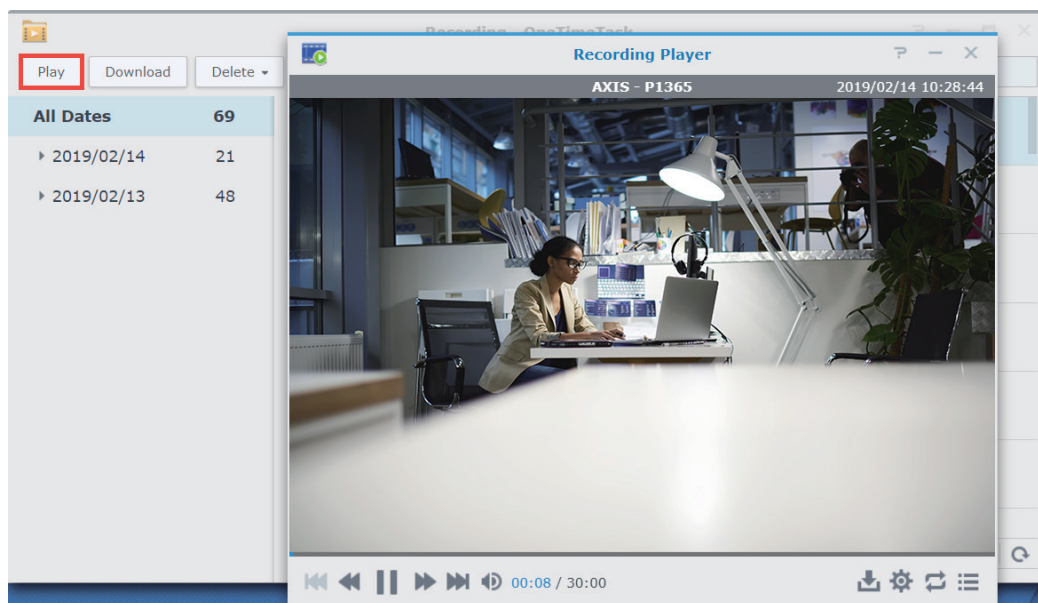


## アーカイブされた録画の表示

アーカイブされた録画ファイルは、アーカイブ化タスクが開始してファイルがアーカイブされた後に再生できます。アーカイブされた録画を表示するには、[Archive Vault] に移動し、目的のタスクを選択し、[アプリケーション] にある [録画] または [タイムライン] をクリックします。

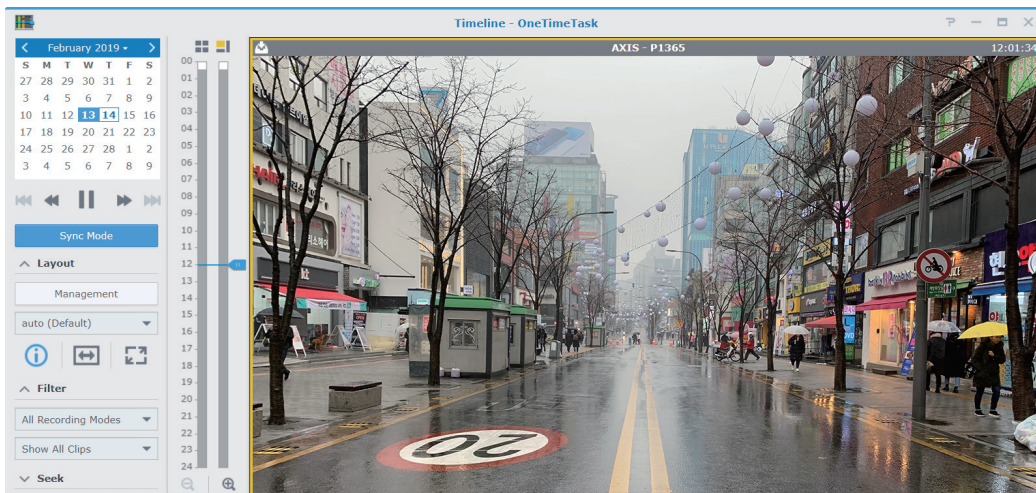


録画ファイルのリストを開くには [録画] アプリケーションをクリックします。 [再生] をクリックするかサムネイルをクリックして、 [録画プレーヤー] を起動して録画ファイルを再生できます。





特定の日付および時刻に従って複数の録画を再生するには、[タイムライン]アプリケーションをクリックします。





# 操作の詳細

## 適切な NAS サーバーを選択する方法

アーカイブ化タスクを実行するための適切な Archive Vault サーバーの選択は、タスクの規模に依存します。毎日録画をアーカイブするのに必要な帯域幅を考慮に入れる必要があるため、トラフィック負荷を処理できる帯域幅の容量を備えたサーバーを選択します。例えば、RS2416+ には 1 ギガビット LAN ポートが搭載されており、RS1817xs+ にはデュアル 10GBase-T ポートが搭載されています。また、Link Aggregation をセットアップしてスループットを増加させることもできます。

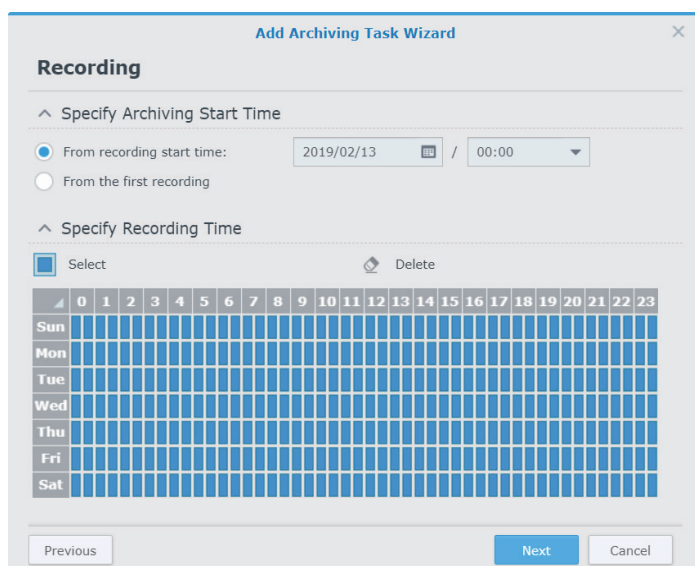
Archive Vault サーバーがストレージ要件を満たしているかどうかを確認します。それには、保持期間やアーカイブフォルダのサイズ制限など、設定に基づいて、録画をアーカイブするために必要なストレージを計算します。その後、適切な量のハードドライブをサポートしている Archive Vault サーバーを選択してください。ハードドライブの数は、I/O 速度に関係する要因であり、転送パフォーマンスに影響を与える可能性があります。

## アーカイブする録画の選択

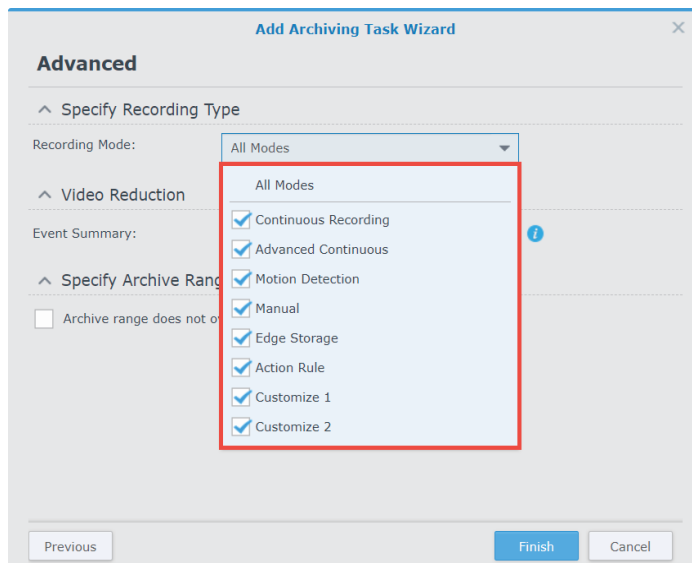
アーカイブする録画は、時間および録画タイプに基づいて選択できます。

- ・ **録画時間に基づいて選択**：アーカイブ範囲および録画の時間に基づいて録画をアーカイブできます。1 回限りのアーカイブ化タスクのアーカイブ範囲を定義するときは、録画の開始時間と終了時間を指定でき、録画をアーカイブするための条件としてこれを使用できます。

スケジュールされたアーカイブ化タスクの場合は、録画の開始時間を指定できます。そうすると、指定した開始時間の後の録画が定期的なアーカイブされます。録画時間を指定するには、時間グリッドで、週の 7 つの曜日に対して 30 分刻みで時間単位を選択します。録画は、指定された録画時間に基づいてアーカイブされます。



- ・ **録画タイプに基づいて選択**：録画タイプに基づいて録画をアーカイブでき、[ イベントの概要 ] を有効にするかどうかを選択できます。選択した録画モードの録画のみがアーカイブされます。録画モードには、[ 連続録画 ]、[ 高度な連続 ]、[ モーション検出 ]、[ 手動 ]、[ エッジストレージ ]、[ アクション規則 ]、[ カスタマイズ 1 ]、[ カスタマイズ 2 ] が含まれます。

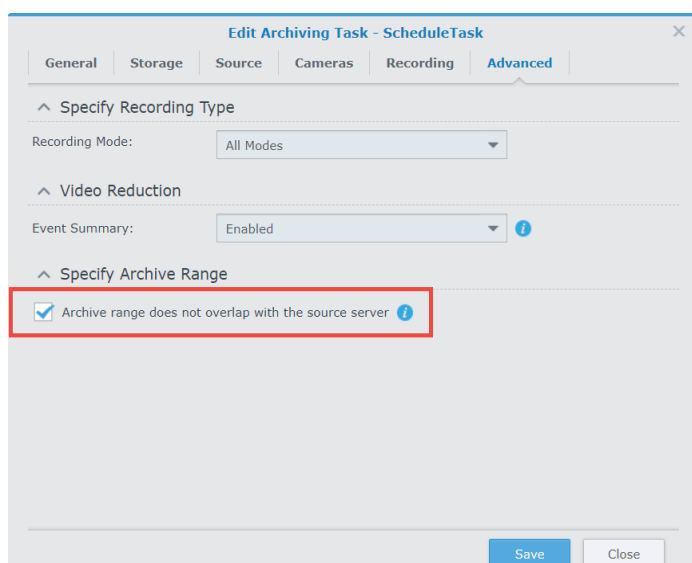


## アーカイブ範囲がソース サーバーとオーバーラップしていない

[ アーカイブ範囲がソース サーバーとオーバーラップしていない ] は、スケジュールされたアーカイブ化タスクのために特に設計されたオプションです。このオプションにチェックマークを付けると、ソース サーバーでローテーションされそうになっている録画が Archive Vault サーバーにアーカイブされるため、ソース サーバーとアーカイブ サーバーの間でオーバーラップする録画を保存することが防止されます。

ネットワーク帯域幅の問題を回避し、2 つのサーバーの間でオーバーラップがないようにするため、アーカイブ プロセスはローテーションの 1 日前に開始します。例えば、ソース サーバーにある最も古い録画ファイルの開始日時が 12 月 1 日午後 3 時である場合、オーバーラップする日のアーカイブ範囲は 12 月 1 日午後 3 時から 12 月 2 日午後 3 時までになります。最も古い録画ファイルの開始日時が、時間の経過とともに 12 月 1 日午後 4 時に変わった場合は、次のアーカイブ範囲が 12 月 2 日午後 4 時までには延長されます。

ソース サーバー上のロックされた録画は、ローテーションの影響を受けません。また、その時間範囲内に発生した場合もアーカイブされます。



## アーカイブ化タスクの再開

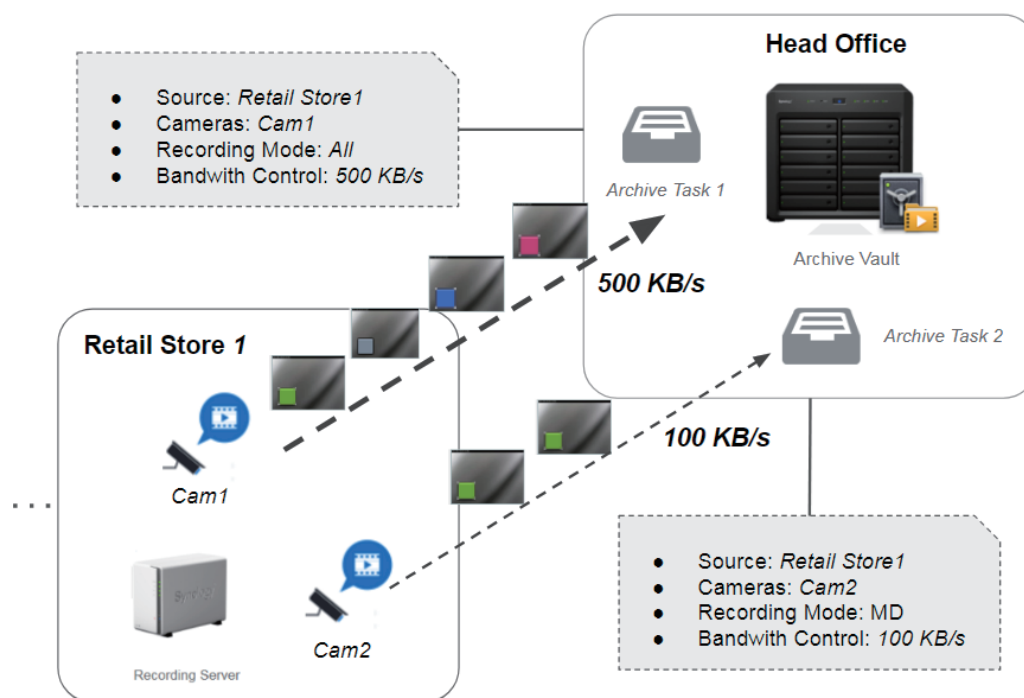
---

Archive Vault は、アーカイブ化タスクの進捗状況を追跡します。アーカイブ化タスクを停止させる可能性がある予期しない状況(ネットワークの切断など)が発生した場合、タスクは、次回実行されるときに、最初からやり直すのではなく中断したポイントから再開されます。Archive Vault は、リソースの効率的な使用を可能にしながら、ネットワーク帯域幅の使用を最小化します。

# Archive Vault のセットアップ例

## Archive Vault のセットアップ例

この例は、Archive Vault の基本的なセットアップおよび使用方法を含み、複数のカメラからのビデオ ストリームがそれぞれ異なる重要度を持つ状況においてさまざまなアーカイブ設定を利用してアーカイブ化タスクを実行します。



上の図に示す使用シナリオでは、ある会社の本社が、その小売店からの録画をアーカイブする必要があります。ソース録画サーバーは、各店舗に設置されており、2 台のカメラ(ここでは、カメラ 1、カメラ 2 と呼びます)とともに展開されています。各店舗にあるカメラは、異なるフォーカスを持ちます(カメラ 2 よりもカメラ 1 にフォーカスします)。Archive Vault サーバーは本社に設置されており各小売店からの録画を保存する中央ストレージサーバーとして機能します。以下のソリューションは、上記の仮定に基づいています。

この例では、「アーカイブ化タスク 1」は、カメラ 1 からのすべてのタイプの録画を Archive Vault サーバーにアーカイブするようにセットアップされています。一方、「アーカイブ化タスク 2」は、カメラ 2 からの動作検出イベントのみを Archive Vault サーバーにアーカイブするようにセットアップされています<sup>1</sup>。

帯域幅は、アーカイブ化タスクごとに制限できます。上図では、アーカイブ化タスク 1 は優先度の高いカメラからの録画をアーカイブするため、より多くの録画がアーカイブされます。帯域幅を 500 KB/ 秒に設定して高いトラフィックに対応できます。アーカイブ化タスク 2 は低優先度のカメラからの録画をアーカイブしますので、帯域幅は 100 KB/ 秒に設定できます。店舗の営業時間中にネットワーク帯域幅の需要が高くなることに対処するために、スケジュールに従った帯域幅制限を設定できます。たとえば、月曜日から金曜日までは帯域幅速度を制限し、土曜日と日曜日は帯域幅制限を設定しません。<sup>2</sup>

ネットワーク帯域幅が過度に使われるのを避けるため、録画の優先度に基づいたアーカイブ設定を適用できます。タスクの録画モードを複数設定し、異なる帯域制限を設定することで、複数のアーカイブタスクを同じソース録画サーバーに作成できます。

**注:**

1. アーカイブ設定の詳細については、以前の章を参照してください。
2. 帯域幅設定の詳細については、前の「帯域幅コントロールの設定」セクションを参照してください。